

なんぶ 社会福祉だより

28



**ペットボトル
キャップ
アート**

11月6日(日)開催のボランティアフェスティバルでペットボトルのキャップを使って壁画を作りました。会見小2年生の小早川咲希さんの原画を元に、町内の中学生ボランティアの手で完成しました。

南部町社会福祉協議会

本 所 〒683-0351 法勝寺331-1 TEL0859-66-2900
会見支所 〒683-0227 浅井938 TEL0859-64-3515

南部町 ボランティアフェスティバル

開会式



授与式

平成23年度南部町社会福祉協議会会长表彰は、個人29名と団体3団体が決定し、ボランティアフェスティバルにおいて、表彰の授与と記念品の贈呈を行いました。永年に亘る社会福祉活動・ボランティア活動等、地域の福祉活動にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

(敬称略)

共同募金クイズ!



地域医療フォーラム



5・6級ヘルパー認定式



素敵なお踊りに酔いしました。

bingoゲーム



次は何番?
リーチになって
いるのに!!

最後に、みんなで
ひとつになって歌います。本当に、
今日は楽しかったネ!

広げようボランティアの輪 つなげよう 心とこころ

「玄関前」

屋台コーナー



「ロビー」



「外科前」



あてくじ (ノームの糸車)

楽しい~!!

温かいうちに召喚され!

一杯できたらなあ

これで

干し柿用に枝を残してあります。

美味しいよ!

1袋いかがです。
お土産にあります。

スタッフ用おにぎり
(会見調理ボランティアグループ)

「すこやか」

カレー (西伯調理ボランティア)

ポン菓子 (社会福祉協議会)

かまくらおこわ (南さいはく地域振興協議会)

フランクフルト (にじいろポケット)

豚汁 (法勝寺地区地域振興協議会)

焼き鳥 (大園地域振興協議会)

うどん (天津地域振興協議会)

焼きそば (東西町地域振興協議会)

わた菓子 (中学生ボランティア)

ジュース (手をつなぐ育成会)

赤猪岩そば (あいみ手間山地域振興協議会)

喫茶 (会見更生保護女性会)

ものづくりコーナー (いちごshort)

情報提供 (伯耆の国)

会場レポート

カメラ片手に会場を一回り。皆さんの笑顔を見るとつい購入、美味しい物は、腹の中に片付けて、手にはお土産がいっぱい。そんな方も多かったです。雨模様のお天気でしたが、心はあったか気分でした!!

スタート

「西伯病院玄関」



共同募金コーナー



「ロビー」





ありがとうございます



(平成23年9月1日～平成23年11月30日受付)

香典返し

(敬称は省略させていただきます)

寄付者名	集落名	故人名
白石 洋之助	法勝寺2区	照夫
足岡 操	駢牛	広美
亀尾 二朗	坂根	一郎
松本 一記	天萬	多一
岡田 雅弘	宮前2	義弘
藤澤 貴子	東西町3区	恵美子
井田 曜徳	上野	とみこ
吉田 秋夫	寺内	春惠
野口 和博	谷川	益子
植田 健	柏尾	秋夫
糸田 真吾	東西町4区	明
都田 愛	笹畠	壽子
赤井 美智男	朝金	政子
新井 恵美子	宮前2	節夫
赤井 範幸	朝金	隆介
角田 喜久夫	倭	縁子
今村 節子	法勝寺3区	公夫
加藤 哲英	坂根	静子
西本 省二	大木屋	美江
大江 寛	掛相	美彦

寄付者名	集落名	故人名
渡辺 美代子	円山	徹
谷本 三宝信	掛相	茂博
森脇 静雄	今長	邦雄
遠藤 茂顕	天萬	正子

見舞い返し

寄付者名	集落名
山田公徳	三崎
雜賀智恵子	高姫
雜賀雅子	高姫
岡田一枝	高姫
福間絹江	天萬
岡田美奈子	宮前2

一般寄付

寄付者名	品目
富有力カラオケクラブ	金一封
会見バドミントンクラブ	金一封
南部町職員労働組合	金一封
大国地域振興協議会	金一封



年末年始のご案内



総合福祉センター しあわせ

12/28(水) 17:00まで
12/29(木)～1/3(火) 休業
1/ 4(水) 通常営業

子育て総合支援センター のびのび

12/28 (水) 12:00まで
12/29 (木) ~1/3 (火) 休業
1/ 4 (水) 通常開設

今年も暮れようとしている。東日本大震災と名づけられた三月十一日の大きな災害をはじめ各地で多く発生した地震による被害、台風による局地的大雨による水害、土砂災害と、自然災害の恐ろしさを知らされた一年であった。東日本大震災では、福島第一原発の大事故、大津波による多くの地域の破壊的被害、多くの人命を失い、今だ発見されない多くの方々を思う時、胸の詰まる思いだ。

仮設住宅にお住まいの多くの方々の現状を見る時、一日でも早い復興を願いたい。原発では、海外での事故等による放射能の危険性を指摘する意見に対し、日本ではすべての面で絶対安全だと国は説明し続けてきた。将来にわかつて放射能による病気への心配を現実にしなければならない現状を見る時、一日でも早い対策を願いたい。

自然災害を拡大している人、要因を見逃してはならぬ。便利性を追求し開発され続けてきた結果を、今一度考える時ではないか。

何かと考える今日この頃である。

(田子)

あとがき

